

高速道路を走行していて、

「これは一体何のためにあるのだろう?」と思うことはありませんか。

前号に引き続き、そんな疑問にお答えしたいと思います。

まずはこれ!



こちらは高速道路の路線名称が表示されている標識。路線名の前にローマ字と数字の組み合わせのナンバーが記されています。例えばE-4は東北自動車道、E-48は仙台南部道路などです。

Eの後に続く数字は、なんとなくぴんと来るのではないのでしょうか。そうです。高速道路と並行する国道の番号です。それでは、Eの意味

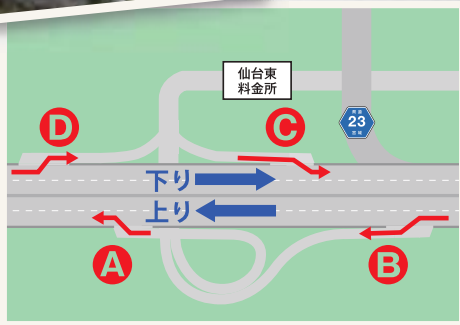
は何でしょう。Eは高速道路の英語表記「Expressway」の頭文字なのです。高速道路を利用する訪日外国人をはじめ、すべてのお客様にわかりやすい道案内実現を目指して路線番号「ナンバリング」が導入されました。

ちなみに環状線の東京外環自動車道(C-3)や圏央道(C-4)のCはCircularとなります。(環状線の番号は首都高の中心側からC-1が割り当てられています。)

次にこれ。



高速道路には100メートル間隔でキロポスト(距離標)があります。道路の起点から何キロ地点なのか、事故、故障、落下物等の道路の異常を把握するために非常に重要なものです。実はこれと同じようなものが、インターチェンジランプウェイにもあることご存じですか?ただ、ランプウェイの場合、入口や出口があるので、表示にはちょっとだけ工夫がされています。数字の前にアルファベットが組み合わせられています。A(上り線の入口ランプ)、B(上り線の出口ランプ)、C(下り線の入口ランプ)、D(下り線の出口ランプ)といったように、ランプ上で異常が発生した時でもすぐに場所が特定できるようにになっていますよ。



仙台東IC